

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 ぎふ清流文化プラザ設備改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化創造課文化施設係 電話番号：058-272-1111 (内 2459)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 154,874千円 (前年度予算額：47,947千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その他	県債	一般 財源
前年度	47,947	0	0	0	0	0	0	42,900	5,047
要求額	154,874	0	0	0	0	0	0	139,300	15,574
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・屋上部分の防水加工が経年劣化により失われつつあり、運転免許課のフロアで漏水が発生したため、応急処置にて対応している状態である。今後屋上防水の劣化が進み漏水箇所が広がると、運転免許の事務に加え、長良川ホール等の運営にも支障を来す可能性が高く、早期の改修が必要である。
- ・ボイラー設備は標準耐用年数を大きく経過しており、缶体燃焼室内部の腐食が激しく、缶体に漏れが生じた場合は修繕が不可能で使用が出来なくなり、全館運營業務の支障になるため修繕が必要である。
- ・長良川ホールの吊物の内、吊マイク設備と緞帳に不具合や破損が発生している。不具合や破損により、録音やホール音響に支障を来すほか、吊物が落下する危険もあるため、改修を実施する必要がある。

(2) 事業内容

- ・屋上防水の改修
- ・ボイラーの更新
- ・長良川ホール吊物機構の改修

(3) 県負担・補助率の考え方 県 10/10

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	151,176	・屋上防水の改修 ・ボイラーの更新 ・長良川ホール吊物機構の改修
工事委託料	3,365	・屋上防水改修に係る工事管理委託
旅費	34	・設計に係る業務旅費
消耗品費	134	・設計に係る事務消耗品・コピー代
燃料費	34	・設計に係る公用車燃料費
使用料及び賃借料	21	・設計に係る会議室借上げ料
役務費	110	・設計に係る電話代・郵送代
合計	154,874	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

施設の計画的修繕に関して、施設の長寿命化計画を策定予定

(2) 国・他県の状況

施設の老朽化対策は全国的な懸案事項となっており、地方公共団体は個別施設ごとの長寿命化計画を策定している。

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

(4) 事業主体及びその妥当性

指定管理者との協定に基づき県が実施すべきもののみを対象とする

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
ボイラーの更新、屋上防水及び長良川ホール吊物機構の改修を行い、安定的な会館運営を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

施設の改修に係る業務であり、定量的な指標で表すことが困難であるため。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
ぎふ清流文化プラザ直流電源装置整流器盤更新工事
ぎふ清流文化プラザ長良川ホール舞台制御装置修繕工事
ぎふ清流文化プラザ屋上防水改修工事（設計）

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
施設の修繕等を実施することにより、利用者に安心・快適に利用いただける施設づくりを行った。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	指定管理制度を導入するにあたり、県と指定管理者との間で下記の取り決めを行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の大規模改修については、県の負担とする。 ・施設の修繕及び備品の負担区分については、 <u>修繕：60万円以上</u> <u>備品：10万円以上</u> を県負担とする。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	計画的に修繕を実施することで、故障時の対応が容易にでき、公演休止やホールの休館等を防ぐことができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	指定管理者より修繕・更新を必要とする設備機器の優先順位を聴き取りながら、計画的に実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 各種設備の経年劣化がすすむ中で、要修繕事項が増加してきている。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 設備の劣化状況に鑑み、計画的に修繕を実施していくほか、大規模な改修については財政当局と協議をしながら、円滑な施設の維持管理を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	